

教科(科目)	国語(文学国語)	単位数	2単位	学年(コース)	3学年（全クラス）
使用教科書	桐原書店『探求文学国語』				
副教材等	数研出版『国語常識・作文ステップアップ』、第一学習社『カラー版新国語便覧』				

1. グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

○グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

～卒業までにこのような資質・能力を育みます～

- ①主体的に課題を見つける感覚を養い、自ら学び、解決策を創造する資質・能力と産業社会で求められる倫理観と規範意識を育成します。
- ②生涯にわたって学び続ける意欲を養い、新たな産業に柔軟に対応する自己指導力を育成します。
- ③国際的視野に立って考える姿勢を養い、地域の発展と豊かな暮らしに貢献するために必要な思考力、発想力を育成します。

○カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～

- ①共通教科の学びを強化して、基礎学力の定着を図ります。
- ②工業高校で学ぶ基本的な知識や技術を習得し、課題研究や新しいIT技術について、主体的な学び方と実践する場を設定します。
- ③将来、国内・国際社会で活躍するために必要なコミュニケーション能力や英語力の向上を図り、多様な価値観を持つ仲間との協働的学習を行います。

2 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 指導の重点

進学・就職等希望進路が多岐にわたっていることから、

- ① 基本的な言語事項の習得を重視し、特に常用漢字の確実な習得を目指します。
- ② 文章を的確に理解した上で、自分なりの解釈や感想を表現できることを目指します。
- ③ 更に、文学に親しみ読書や創作を楽しむ態度を育てます。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	・ 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次とおりです。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
	以上の観点を踏まえ、 ・ 定期考査の分析 ・ 小テストの分析 ・ 国語便覧の活用状況の観察 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ 定期考査の分析 ・ 作文やレポート、ワークシートなどの内容の確認 ・ 話し合いや発表の様子を観察 ・ 様々な資料や情報を収集し活用できているかの観察 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ 課題の提出状況 ・ 主体的な発言や個性的な取り組みがあるかの確認 ・ 定期考査や小テストなどの成績の変化の分析 ・ 国語便覧の活用状況の観察 などから、評価します。

6 学習計画

月	単元名	授業時数と 領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観 点	評価方法
4	小説Ⅰ	5 B	「愛のサーカス」	・小説を寓話的に読む。	a b c	ワークシート
	短歌・俳句	3 B	「寺山修司十首」	・近現代短歌を鑑賞し、主題や表現技法の特色を理解する。	a b c	ワークシート
5	定期考査	1 B			a b	
	小説Ⅰ	8 B	「少年という名のメカ」	・小説を読み、作品に込められた寓意を理解する。	a b c	ワークシート
6	随想	5 B	「客ざらい」	・随想を読み、作者の思いを読み取り、文章表現の美しさを味わう。	a b c	ワークシート
		5 A		・エッセイを書く		
	定期考査	1 B			a b	
7 8	短歌・俳句	4 B	「虹の俳句七句」	・俳句を味わい、創作のための知識を身に付ける。 ・俳句を作る。	a b c	ワークシート 創作作品
		4 A				
9	短歌・俳句	8 B	「バックストローク」	・小説を読み、登場人物の心情を理解する。	a b c	ワークシート
	定期考査	1 B				
10	小説Ⅲ	6 B	「変身」	・小説を読み、作品に込められた象徴的意味を理解する。	a b c	ワークシート
11	文学評論Ⅱ	5 B	「サヨナラ」ダケガ人生ダ	・文学評論を読み、筆者から見た文学作品のとらえ方を理解する。	a b c	ワークシート
	定期考査	1 B				
12 1	小説Ⅱ	6 B	「檸檬」	・小説を読み、時代背景を理解し、登場人物の心情を読み取る。 ・短編小説を書く。	a b c	ワークシート
		6 A				
	定期考査	1 B			a b	

計 70 時間 (50 分授業)

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A「書くこと」 15 時間	B「読むこと」 55 時間
-----------------	------------------	------------------

7 課題・提出物等

- ・ 副教材『国語常識・作文ステップアップ』を家庭学習に活用し、定期考査にも出題します。実施予定・範囲は別に提示します。

8 担当者からの一言

文学国語は、文学に親しむことで人生を豊かにすることを目指します。作品に描かれた世界に身を置き、登場人物に寄り添い、自分を相対化することで様々な発見や世界に対する認識の深化を体験してほしいと考えています。また様々な形式の表現に触れることで、創作の楽しさも味わってください。